

実務経験のある教員による授業科目（経済学部）

科目名	単位数	実務経験を活かした教育の取組	公共	マネジメント	会計
簿記実務	4	・日商簿記試験2級に合格する知識と試験対策テクニックの習得を主目的とするため、実務経験を活かした教育には該当しません。（教員の実務経験と現役公認会計士による講演はあり）			○
簿記論	2	・公認会計士として活動し、また受験指導も行っている教員が授業を担当致します。	○	○	○
現代経済・経営特殊講義	2	経済情勢の分析を担当する行政官から東海地域経済の現状や課題などを解説する。 金融監督や検査を行う行政官が銀行監督や検査のあり方などを解説する。 金融犯罪被害防止にかかわる行政官が犯罪被害の未然防止や関係法令などを解説する。	○	○	○
インセンティブの経済学	2	ラジオやテレビ番組の企画制作会議等での手法を適用します。	○	○	
企業ファイナンス	2	もともと銀行や生命保険のシンクタンクに勤務していたので、その経験・知識を金融取引慣行の説明の際に活かしたい。		○	○
企業論	2	企業での調査及びコンサルティング業務とNPO法人での起業支援の業務を経験している教員が講義を担当する。		○	○
金融論Ⅰ	2	ラジオやテレビ番組の企画制作会議等での手法を適用します。	○	○	○
金融論Ⅱ	2	シンクタンクでの嘱託研究で得た知見について、規定で許される範囲でお示しします。	○	○	○
日本経済・経営Ⅱ	2	地方自治体、自動車部品メーカー、ゴム商社などで実務経験のある講師や、大学院を経て大学教員を務める講師が、具体的な各職場や専門研究分野の特徴を伝授し、就職活動に活かして頂きます。また大学院で修得した学問を交えて、職務における理論と実践を講義します。	○	○	○
証券投資論	2	銀行・保険会社系シンクタンクや年金基金などの資産運用実務経験を活かして、指導する。			○
知的財産法	2	知的財産の実務家である弁理士が講義をします。	○	○	○
地域企業活性化論	2	本講義は実務家5名によるリレー講義である。		○	
特別講義Ⅱ	2	名古屋市上下水道局で水道・下水道事業の経営企画・経理に携わった経験のある現役若しくは元幹部職員による講義であり、名古屋市における実務経験や体験談を交えながら水道・下水道事業を運営する地方公営企業の持続可能な経営や将来に向けたインフラのあり方を考察する。	○	○	○
特別講義Ⅲ	2	かつて名古屋市において総合計画等の策定に携わり、現在はまちづくりに関する各種事業を実施する団体に所属する教員が、まちづくりを実現するための都市政策について講義します。	○	○	○
特別セミナーⅤ	2	企業での調査及びコンサルティング業務とNPO法人での起業支援の業務を経験している教員が講義を担当する。	○	○	○
税務会計	2	公認会計士としての業務に携わった教員が講義をおこなう。			○

【専門教育科目】

全学共通科目	0	0	0
学部等共通科目	18	18	18
専門科目	2	8	12
単位数合計	20	26	30

【教養教育科目】

全学共通科目	42	42	42
学部等共通科目	4	4	4
専門科目	0	0	0
単位数合計	46	46	46

【合計】

全学共通科目	42	42	42
学部等共通科目	22	22	22
専門科目	2	8	12
単位数合計	66	72	76